

# 福音の園だより

【第十八号 二〇〇六年 六月 七日発行】

350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎ 049・230・1111

FAX 049・230・1112

## ご家族の声

### 福音の園で輝いている妻の顔

五年前、妻がアルツハイマーの診断を受け、三度の食事介護、排便排尿の誘導、入浴、着替え、同じことを何回も応えていく忍耐、徘徊への見守り等が始まりました。こうした妻への介護の中で得たことは「慈雨の如き優しさで接すること」でした。これで少しでも病の進行を遅らせることができましたらと必死でしたが、遂に私も病に倒れ、介護の限界となりました。そんな時「福音の園・川越」開設を知りました。それまでいくつかのホームを訪ね、その度に失望し、ほとんど諦めていた私は、杉澤ホーム長から福音の園の理念を伺い、迷わず入所を決めました。この福音の園との出会いは、何か大きなもの、人知を越えた目に見えないイエスさまの導きとみ業であると感じ、大きな驚きの経験でした。ここから私は、今年の復活祭・イースター(四月十六日)に、イエスさまを救い主と信じる決心を表わし、クリスチャンとして新たに生き始めたのです。

現在、福音の園での妻の顔は、神さまの恵みの中で輝いています。感謝です。(M・O)

### 家庭的環境に近づけるために

グループホーム福音の園・川越 ホーム長 杉澤卓巳  
新年度を迎えて、真新しいユニホームを着て働く新人をあちこちで見かけるようになりました。ところで、当園で働くスタッフにユニホームは似合わない。と言うよりも相応しくないとさえ言えます。「エプロンはお揃いのもですか？」という質問が寄せられたとき、「認識生涯に陥ったご利用者様の見当識(注・時間、場所、周囲の人・状況などについて正しく認識する機能)を補い、混乱を最小にとどめるにはユニホームや揃いのエプロンは相応しくない」と計画作成担当から声が上がった。当園は、いわゆる大人数「施設」ではないので、施設名をプリントしたユニホームは似合わないという理由です。少人数「グループホーム」として、見当識補強のため、ケアの質向上から、家庭的環境に少しでも近づける努力や創意工夫を心掛けて、新年度も取り組んでまいります。

### 福音の園・川越 スタッフ一覽

早出(七時)、普通(八時半)、準遅(十時)、遅出(十三時)、夜勤(二二時)の五交代勤務でお世話いたしますスタッフを紹介します。

一階・計画作成担当(看護職)・小林ますみ、

介護職・西澤 和康、樋口宇多子、鈴木 昌子、

金杉 玲奈、藪 雪江、弓田テツ子、山口 藤子、

山城智子。事務職・浅見 益子。

二階・計画作成担当・杉澤 玉美、看護職・荒木

ひとみ、介護職・小島 悦子、神田津技江、杉

山直美、石井ひとみ、羽田野ちづ子、長澤き

つ子、小野 登代、杉山 和子。

管理者(ホーム長)・杉澤 卓巳。以上、二二名。

### 歯の衛生週間に寄せて 歯科衛生士の声

#### □の中を見れば介護の質がわかる

私達は月二回、口腔ケアと歯科治療に何わせていただいております。『口の中を見れば介護の質がわかる』という言葉があります。身の回りのお世話の中で歯磨きはどうしても後回しになりがちですが、多くの方の口腔内は、お元気で歯科医院に通院して来られる方よりもきれいになっていきます。スタッフの方には歯磨きだけでなく、口腔体操などを取り入れていただいたりと本当に頭が下がる思いです。これからも美味しく食べて充実した生活を送っていただけるようお手伝いをしていきたいと思えます。

(ファースト歯科医院・歯科衛生士 斉藤 典子)

### スタッフ紹介

#### 敬愛できる職場に巡り会えて

風薫るさわやかな季節になりました。利用者の皆様と美しい花々を愛で心はずむ時を過ごしております。

福音の園で働き始めて約一年六ヶ月。最初はただ目の前にある仕事をこなすのが精一杯でした。今は園の基本理念に基づいた介護が出来る様、少しずつですが頑張っているところです。まだまだ未熟な私なので、失敗したり落ち込んだりですが、利用者の皆様の優しさ、御家族の温かい心、ホーム長やスタッフの励ましに支えられ、介護の仕事に就いてこのような敬愛できる職場に巡り会えて本当に感謝しております。(介護職・樋口宇多子)

### 御礼

鮮魚、干物、筍・S・F様(千葉県鴨川市) 菖蒲・黒須悦夫様(蒼沼寿会代表)(川越市)